

教職員が一体となって取り組む道德教育の推進 —「道德教育充実のための連携推進サポートブック」の 作成と活用を通して—

研究構想図

長期研修員 高田 康平

教職員が一体となって取り組む道德教育

家庭や地域との連携



○授業を通して家庭と連携する方法

- ・アンケートの実施
- ・コメントの依頼 など

○地域の人材を授業で活用する方法

- ・インタビュー動画の活用

教職員の連携



○教職員が協力し合う指導体制の工夫

- ・ローテーション道德
- ・ユニットの導入 など

○道德教育に組織的に取り組む方法

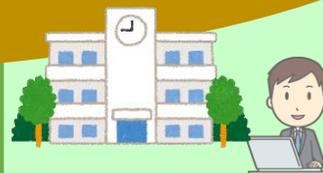
- ・指導計画の活用
- ・校内環境の整備 など

小中連携



○合同研修会を実施するための工夫

- ・メンター研修の活用
- ・Web会議システムの活用
- ・デジタルホワイトボードの活用
- ・オンライン授業研究会の実施



連携推進サポートブックの活用

学校の課題

- ・研修時間の確保
- ・ICTを活用した授業改善や教職員の共通理解
- ・家庭や地域との連携
- ・小学校と中学校の滑らかな接続を意識した取組

国・県が求めること

道德教育推進教師を中心に、全教職員が協力して取り組む道德教育の充実

「道徳教育充実のための連携推進サポートブック」活用例



「家庭や地域との連携」編



「勤労、公共の精神」の授業で、地域の人材を活用したいな。

学級担任

インタビュー動画の活用

関係機関に相談



- ・ 関係機関を通して地域の人材とつながる
- ・ 打合せや撮影の日程調整

インタビュー動画の撮影・編集



授業の実施



地域と連携した授業を実施することができ、子供たちは教科書の内容を身近に感じることができました。

「教職員の連携」編



児童の考えが深まるよう、学年で協力して授業に取り組みたいな。

道徳教育推進教師

ユニットの導入

ユニットの作成に向けた話し合い



ユニットの作成

ユニットテーマ	あなたもすてきな家族の一人
ユニットの目標	いのちのつながりを知り、家族への感謝の気持ちをもちながら、家族の一員としてできることを進んでしようとする態度を育てる。
第1時	○主題名「いのちのつながり」 D 生命の尊さ ○教材名「いのちのまつり」(出典：光文書院) ○ねらい 受け継がれ受け渡していく生命のつながりを自覚し、生命を大切に生きて行こうとする心構を育てる。
第2時	○主題名「家族への思いやり」 C 家族愛、家庭生活の充実 ○教材名「お母さん、かぜでねこむ ちびまる子ちゃん」(出典：光文書院) ○ねらい 家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする心構を育てる。
第3時	○主題名「すすんでほらく」 C 勤労、公共の精神 ○教材名「はたらく」(出典：光文書院) ○ねらい 周りのことを考えて働くよさが分かり、進んで働くこととする心構を育てる。

授業の実施



学年で協力して授業に取り組みことができ、子供たちは一つのテーマについて、多面的・多角的に考えることができました。

「小中連携」編



小学校と中学校で合同研修会を実施したいけれど、時間がないな。

道徳教育推進教師

メンターチームによるオンライン授業研究会の実施

道徳教育推進教師による打合せ

中学校の道徳教育推進教師

小学校の道徳教育推進教師



授業研究会に向けた準備

- ・ 学習支援ソフトの活用
- ・ 授業動画の撮影



- ・ 授業動画の視聴
- ・ 班別協議会の班分け

授業研究会の実施



少人数グループ分け機能の活用



合同研修会を実施することができ、先生方は小・中学校のつながりを考えて授業を進めることの大切さに気付きました。

成果 ・ 「サポートブック」を活用したことで、学校全体で道徳教育に取り組む雰囲気ができ、道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進に役立った。
・ 道徳科の授業に教職員が協力して取り組んだことで、授業の質が向上した。

課題 ・ カリキュラム・マネジメントを意識した全体計画別葉や年間指導計画の活用と、地域の人材・物的資源の活用に関する具体的な実践内容を充実させる必要がある。

提言 ・ 「サポートブック」を活用して、教職員の連携、家庭や地域との連携、小中連携を学校全体で進め、教職員が一体となって道徳教育を充実させましょう。